

世帯と人口  
 (平成3年12月1日)  
 世帯 36,374 (+86)  
 人口 108,265人 (+195)  
 男 55,804人 女 52,461人

# えびな

編集・発行  
 海老名市役所広報広聴課  
 〒243-04  
 神奈川県海老名市勝瀬175  
 ☎ (0462) 31-2111

## 猿に足りない3本の毛



あるとき、子猿が親猿にこんな質問をしました。

「猿は三本毛が足りないの人間になれない」と言いますが、こんなたたくさん毛があるのに、どうして三本足りないのですか」

「それはな、人間にはあるけど猿にはない毛があるからだ」と、親猿は答えました。子猿は重ねて聞きました。

「それはどんな毛のですか」

「かたじけという毛と、かおむけという毛、それにもう一つ、それはどんな意味を持った毛ですか」

「かたじけは食べ物に対して深い感謝をあらわす毛で、人間は食事のときに箸を押しだして『かたじけない』と天地の神々に感謝して決して粗末にしない。でも猿にはそういう毛がないから食べ物を得られることをありがたいて感じないで、粗末にする。

「かおむけは恥を知る毛だが、猿にはそういう毛がないので平気で恥知らずの行動をする。

また『もやしわけ』という毛は、育ててくれた親に申し訳ない、という義理や恩義を知る毛で、猿にはそういう毛がないから親孝行もしないし恩義に報いることを知らない」

子猿は思いつめた顔で問い返しました。

「猿が人間になれないわけはよくわかりましたが、もし、人間にそういう毛がなかったら猿になるんですか」

「人間は万物の霊長などとうぬぼれているが、もしそういう毛がなかったら、それは人間の皮をかぶった猿以下の動物になっちゃうよさ」

子猿は親猿の説明に納得しましたが、この親猿の言うとおりならば、世の中には猿以下の人間がたくさんいることになるのかも知れません。

【世相に鑑みて、猿年にちなんだ話を小島直司さんから伺いました】



# 見直そう



安らぎとあたたかみのある水辺に...

ただでなく、河川・湖沼・海などの公共用水域の水質汚濁を防止するために不可欠な公共施設です。

市では現在、公共下水道と都市下水路の整備を進めています。このうち公共下水道は、県を主体に海老市を含め、十六市町村が参加している相模川流域下水道の庄原線に接続されており、茅ヶ崎市の下水処理場で、汚水を物理的に処理して相模湾に放流しています。

普及率は、平成二年度末で、五七・八％となっており、整備の一層の促進が急がれています。

この下水道の普及に伴い、河

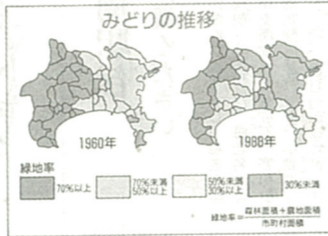
## 河川の汚れ



## 資源の再利用

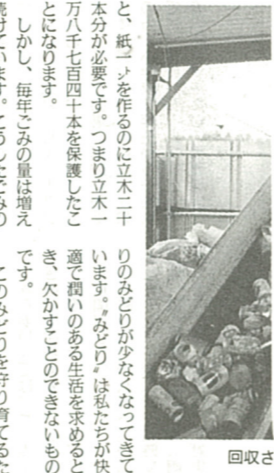
ごみを資源化し再利用すること、ごみの減量化と処理経路の節約や、地球資源の保護とエネルギーの節約などを行うことを目的に、昨年四月にスタートした「資源分別回収」によって、月平均二百四十トンの資源が回収され、再利用されています。

これらの回収によって、月平均約二百五十トンのごみが減量されました。また、資源の回収量は、紙類が九百三十七トン、布類が百九十六トン、びん類が四百五十四トンでした。回収した資源を紙類にあてはめてみます。



## 「みどり」を守る

都市化の進行で、私たちの周



回収された資源を選別

と、紙を造るのに立木二十本が必要で、つまり立木一万八千七百四十本を保護したことになります。

しかし、毎年ごみの量は増え続けています。こうしたごみの中にはまだまだ数多くの資源として再利用できるものが含まれています。今後、資源回収へのご協力をお願いします。

## 提案5 森林資源を守ろう

- 自治会や子供会などの集団回収に積極的に協力しよう
- 職場でも回収日を定期的な定めて古紙の回収に努めよう
- 再生紙を積極的に使おう
- 必要以上にコピーしないようにしよう
- 過剰な包装をしたり、頼んだりしないようにしよう



## 提案4 廃棄物を減らして資源を守ろう

- 回収や再生が可能な製品や容器を開発しよう
- できるだけ何度も使って長持ちす利用しよう
- ごみの回収や資源化を進めよう
- 家庭や地域で紙、缶、ビンなどの別収集に協力しよう
- 産業から出てくる廃棄物も技術開発により発生量の抑制、有効利用に努めよう



## 環境保全にひと役

発泡スチロールのトレーと牛乳パックの回収を実施



買い物のついでにトレーを持ちこむ市民

市内の大手スーパーでは、昨年十月から入口に発泡スチロールのトレーと牛乳パックの回収ボックスを設置し、資源回収を始めた。設置した当初は、ボックスがいっぱいになるまで、三、四日かかっていたものが、最近では、一日にボックス二箱分のトレーや牛乳パックが回収されるようになったそう。

トレーは、納品業者が回収し、カセットテープのケースやハンガリーの原料として再利用されます。

また、牛乳パックは、再生されたトレイトペーパーなどに利用されます。

## 市制施行 20周年記念

平和講演会・コンサート



平和を訴えるアグネスさん

十二月八日(日)、市文化会館で、市制二十周年記念事業

## 「みんな地球に生きる人」

この日は、日本軍による真珠湾攻撃から五十年目に当たる。二度と同じ過ちは繰り返さないために、唯一の核被爆国として、戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを忘れることなく、平和の大切さを再認識し、子や孫へ語り継いでいくため開かれたものであります。

当日は、あいにくの雨にもかかわらず、約八百人の市民が来場しました。

内容は、第一部がアグネス・チャンさんによる講演「みんな地球に生きる人」、第二部は岸洋子さんのコンサートとあり、講演の要旨は次のとおりでした。

中学一年生のとき、ボランティア活動で体の不自由な子供たちの施設を訪問しました。いろいろな道具で自分の体をあちこちを支えながら、一生懸命集まってくれました。あいつをしても拍手がこないんです。何か変な事言ったかな?と思っただけれど、うではなく、その施設では手が使えない子供が多いから拍手の習慣がないんです。そのか

わり「ワァー」と大きな声で歓迎してくれたんです。今、当たり前だと思っていた事があり、命の重さを知り、大きなショックを受けました。

政治の問題と戦争のために人間同士が許し合えないで、どうしてまたわってしまっんですか、と。

日本人である夫と結婚するときは、日本人の人は反対して、日本人は中国人を殺したのに、なぜ日本人と結婚するの?と。

私は、彼個人を好きになったのであり、日本人とか中国人とかいう理由で人を好きになるのではないに、しかし、このことがあって、今もなお

戦争のことが後をひいていることを知りました。

私は、どんな理由があろうと戦争は反対です。平和を愛する心といわりの気持ちが、あれば、平和で美しい地球をつくれると思います。

アグネス・チャンさんはこのほか、中国の桂林を訪れたとき、きれいなきれいな川が、それが物がないから、新聞も回収して、今、世の中は、物があふれ、便利になりすぎて、限りの地球が汚れている、といった地球環境問題にも触れ、予定時間を超える熱いもった講演でした。

# 環境にやさしい生活を

## 広がる地球規模の汚染

私たちの暮らしは、便利さ・豊かさ、に包まれています。しかし、現在の豊かな生活は大量消費、使い捨ての一面を持っています。こうした私たちの生活と、環境問題との関わりは大きく、「このままでは、地球上に人間が住めなくなる」といった説を唱える学識者も大勢います。今年「アース・イヤー」。今こそ、私たちは環境問題に関心をもち、毎日の生活の中で一人ひとりが工夫や気配りをし、私たちの子や孫のためにも、この美しい地球を汚さないように心がけましょう。

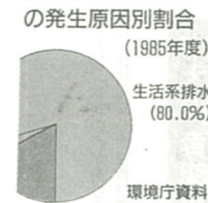


## 汚さない工夫や配慮を

河川の汚濁を防止

海老名市では、すでに数々の環境問題に対し、いろいろな角度から次のような事業を進めています。

その一つは、下水道です。下水道は、快適な居住環境の実現



回収された資源を選別



この地球サミットに合わせて海老名市では今年「アース・イヤー」と位置付け、市をあげて各種環境問題に取り組みを始めます。

一人ひとりの心がけ

地球規模の環境問題は、豊かさや便利さ、を求めた、私たちの日常生活の結果であり、私たちは知らないうちに、この美しい地球を汚しています。

この問題を解決するには、例えば一人ひとりが「台所は川や海への入り口」という意識を持ち、流しの排水口に「ゴミ受け」を備えて野菜くずなどの流出を防いだり、適量の分解性の高い洗剤を使うようになれば、川の汚染や泡立ちが防げます。

また、古雑誌や空き缶などを再利用することで地球資源の浪費を防げます。

つまり、日頃から環境に深い理解と認識をもち、毎日の生活の中で「できる限り環境を汚さない工夫や配慮」を習慣づけることが必要です。この「小さな

## 提案3 オゾン層を守ろう

- オゾン層を壊すフロンガスを使用するスプレーなどは使わないようにしよう
- 企業活動でフロンガスを使わないようにしよう
- フロンガスを使用する製品は製造しないようにしよう
- 回収などによりフロンガスの大気への放出をできるかぎり少なくしよう



## 提案2 身近な暮らしの中から行動しよう

- 冷暖房は冷えすぎないよう、暖めすぎないように上手に管理しよう
- 省エネ型の家電製品や太陽熱温水器を使用しよう
- マイカーの使用を控え、電車・バスなどの公共交通機関の利用に心がけよう
- 生け垣や庭の緑を増やそう



## 提案1 できるだけ地球を暖めない地域づくり、企業活動をしよう

- 効率的な交通体系や地域冷暖房、コジェネレーション(熱電併給)システムを推進するなどして、エネルギー効率のよいまちづくりを進めよう
- まち全体に緑を増やそう
- 産業活動で出てくる排熱の有効利用などにより、エネルギー効率のよい企業システムを創造していこう
- 太陽光や風力を利用した発電などの自然エネルギーや燃料電池などの開発・利用を進めよう



### 新春の郷土を駆ける

#### 12日に市駅伝競走大会

陸上競技場 9時スタート  
一月十二日(日)に「第二十一回海老名市駅伝競走大会」が行われます。コースは今回から変更になり、午前九時に運動公園陸上競技場をスタートし、門沢橋自治会館(9時11分)、有馬中学校(9時27分)、大谷小学校(9時38分)、杉本小学校(9時51分)、今泉小学校(10時7分)を中継、同競技場にゴールする六区間、二十六・二キロです(下図参照)。

なお、カッコンの時刻は先頭通過予定時刻、ゴール予定時刻は、十時十五分です。

この大会は、自治会対抗、事業所対抗、中学生対抗、女子対抗の四部門で開催されます。沿道での盛大な声援をお願いします。



女子選手も健闘した去年の大会

#### 19日に高座一周駅伝

沿道で二声援ください

一月十九日(日)には、「高座一周駅伝競走大会」が行われます。今年で二十回を迎えるこの大会では、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町の各代表チームが新春の高座地区を舞台に熱戦を繰り広げます。

当日は、午前九時に座間市公民館前をスタートし、海老名中学校前(9時14分)、海老名市農協南支所前(9時29分)、寒川町役場北側(9時47分)、小動神社前(10時)、春日台中学校前(10時半)、綾瀬市陸上競技場(10時



第21回市駅伝競走大会コース

#### 総合体育館で柔道教室開催

市教育委員会は、伝統的な武道である柔道の基本的な技術や知識を身につけるためのスポーツ教室(柔道)を次のとおり開催します。

日時 二月一日(土) 九時～十二時(毎週土曜日、全五日間) 午後七時～九時(会場、運動公園総合体育館) 市内在住の中学生以上の方(小学生4年生から一歳まで) 定員 五十名 集合 午後六時半 持ち物 柔道着 または運動着

#### 小学生を対象にサッカー教室

市教育委員会は、サッカー好きの小学生を対象に、少年スポーツ教室(サッカー)を次のとおり開催します。

日時 一月十八日(土)、二十日(日)、二十二日(水)、二十五日(土) 午後二時～四時(会場、運動公園陸上競技場) 雨天の場合は総合体育館

#### ミニバスケットボール教室を開催

市教育委員会は、ミニバスケットボールを愛好している少年少女を対象に、少年少女スポーツ教室(ミニバスケットボール)を次のとおり開催します。

日時 二月一日(土)、八日(土)、十五日(土) 午後一時～四時(会場、運動公園総合体育館) 市内の小学生四年生以上が対象、百人十人持ち物 体育館シューズ、タオル、運動できる服装(申し込み、電話または直接体育館へ) 定員 五十名 集合 午後六時半

### 公民館だより

平成4年1月31日

### 自然の尊さ改めて確認！ 市民教養大学講座で自然環境学



受講者は日本の動植物について真剣に学んだ

市中央公民館では、市民のみなさんの広範な学習意欲に応え、より専門的内容を習得する場として「市民教養大学講座」を開催しています。

十一月八日から始まった自然環境学は、自然環境に豊かな自然と人々のかかわりをもテーマに、全五回にわたって、独協大学教授の加藤重雄先生を講師にお迎えして講義をしていただきました。

「一口問題と食事情について」は、地球の将来として深刻に考えなければならぬと痛感しました。日本の基礎科学における対応は、依然として貧弱だと感じています。自然に賛成するところを続けていく、もはや再現不能になり、進化がむしろ人間を滅ぼすことになるかもしれません。今後引き継ぎ、環境問題について学習を続けていきたいと思います。

#### ポスター作成中 「公民館まつり」に向けて



ポスター作りに励む実行委員

と感想文を寄せさせていただきます。今回の講座では、改めて自然の大切さ、地球が破壊されている現状を痛感させられました。

十二月二日には、ポスター作りがはじまりました。公民館まつりに参加されるみなさんの力作をぜひ多くの方に学習成果を見せたいという気持ちから作られるようになり、今回で四回目になります。

### 今月のプロ

「テーマに沿って写真を撮る」の最初は初めてでした。市内の風景を写したことも初めて。また、その写真は選ばれて、そして掲載してもらいました。

と話すのは、柏ヶ谷の延島由浩さん(68歳)。延島さんは、身近な緑をテーマにした海老名市緑化推進協議会主催の「緑の写真館」コンテスト「第二回」のフォトコンテスト「第三回」の受賞者(8面に掲載)の51歳

#### モットーは「楽しんで撮る」

人百二点の応募の中から見事、金賞を受賞した。受賞した作品は、青々と茂った竹林の前の小道を二人の子供が歩いている。題は「お祭」。この豊かな自然を感じさせる写真は、延島さんが散歩の道すがら撮影したもの。

写真展は三十五年だが、趣味の旅行や山登りに行ったときに撮る程度。そんな延島さんが本格的に取り組

み始めたのは去年七月、市が行った高齢者を対象にした写真教室に通ったからだ。

この教室で、延島さんは数々の撮影技術と、同好の士を得た。教室終了後、「一緒に撮った仲間と「写真会」という会をつくり、四季折々に撮影会を行っている。それも都会の雑踏から遠く離れた自然の山野が主だ。

「偉大な自然と、その自然にふれたときに感じる、心のやすらぎ。まるで写真写せるように思いますが」……しかし、楽しみながら



「緑の写真館」コンテストで見事金賞を受賞したのべし延島 由浩さん

ら撮るのがモットーだ。延島さんの撮影方法はあくまでも「楽しんで撮る」。気になった撮影場所を見つけて、曇りだつたら太陽が出るまで、撮りたい場所に入れば立ち止まるまで待ち続ける。その間は周囲の景色を味わっているのだ。

そのせいか、延島さんの写真は、木の葉一枚まで丁寧に写し取られる。自然愛好家の心のゆとりが感じられる。

二年前に越してきたばかりなのに海老名の地理には不慣れだったが、写友会の仲間ら情報を入れ、市内に残る自然も写し続けてみたい、と話すと、延島さん、今後の秀作が期待される。

#### 冬の星座 観察会

冬の夜空を眺め、きらめく星座を観察してみませんか。

日時 一月二十五日(土) 午後六時～七時(会場、市文化会館)

対象者 小学四年生以上 定員 三十名 費用 二千円(食事・シューズ代) 申し込み 一月七日(火)から電話で同所へ。定員になり次第締め切り。お問い合わせも同所へ。

#### 平成3年度文化講演会

講師 俵 孝太郎氏



2月8日(土) 市文化会館

>とき 2月8日(土) 午後2時～3時半  
>ところ 市文化会館ホール >講師 俵孝太郎氏 >テーマ 90年代これからの日本 >入場料 無料 >対象者 市内在住・在勤の方、1100人(先着順) >申し込み方法 電話で市中央公民館(☎32・3231)へ >申し込み期限 1月31日(金)

#### プレイ・ガイド

#### 中村あゆみ コンサート

好評前売中  
>とき 1月17日(金) 午後6時半開演  
>ところ 市文化会館(☎32・3231)  
>入場料 A席3500円、B席3000円(全席指定)。大好評前売中。前売りが売り切れた場合、当日券はあります。主催 海老名市、市文化会館事業協会



#### 映画「ペンタの空」

南極の極寒の地に青年パイロットの市川亮太が降り立った。そのペンギンを見つめる亮太は、ふと少年時代を思い起こした…。日本で生まれたペンギンを故郷の南極に送り届ける少年の姿を描いたファミリー・ピクチャー。自然保護のキャンペーン映画として作られた作品を上映します。

出演 山下規介、池波志乃ほか  
>とき 2月9日(日) 午前10時半と午後2時の2回上映 >ところ 市文化会館(☎32・3231) >入場料 前売券700円、当日券900円(全席自由)。大好評前売中。前売りが売り切れた場合、当日券はありません。主催 海老名市、市文化会館事業協会

【昭和62年】3月、相模線「海老名駅」が開業。一足踏み相模線分譲保全体整備基本計画」を策定。7月、東柏ヶ谷近隣公園が完成。8月、市長選挙が行われ、左藤亮氏が4選。10月、市議会議員の選挙が行われ、28人が当選。

【昭和63年】1月、わかば第2作業所が完成。3月、大谷コミュニティセンターが完成。4月、市公文書公開条例」を施行。市の人口が10万人の大台に達した。

【大谷線】が全面開通。7月、市産品開発1号の「いちごわいん」発売。9月、海老名駅に自由通路が完成。

首都圏で国鉄最後の新駅として、昭和62年3月に開業した相模線「海老名駅」。沿線の四市一町などで構成する相模線沿線

62年 相模線新駅が開業  
写真が語る市制20年の歩み

海老名タイムトンネル  
写真が語る市制20年の歩み

10万人目の市民となった時任将ちゃんに記念品が…  
市では、市内に残る古い写真を収集しています。風景や風俗、人物などを撮った古い写真をお持ちの方は、市史編さん室(内291)へご連絡を。

相模線「海老名駅」の開業式

# フォトピックス

市内に住む六十五歳以上のひとり暮らし老人家庭の安全点検が、二十四日から六日までと九日から十一日までの六日間に行われた。

この点検では、ひとり暮らしのお年寄りが安心して正月を迎えられるようにと市職員、市消防員、東電電力厚木営業所所員がチームを組み、二百六十三家庭を訪問し、石油暖房器具、ブレーカー、配線などをチェックしたが、結果はどのお宅もおおむね良好だった。

## 安心してお正月を ひとり暮らし老人宅を点検



消火器の有効期限も点検項目のひとつ

## ひと足早いXマス

米人サンタわがば会館に

十二月十一日、市わがば会館にアメリカ人が扮したサンタクロースが訪問し、会館内の各施設を回り、おもちゃやキャンディーなどを約六十人にプレゼントした。

訪れたのはロサンゼルス出身のマリアム・ガフアリさん(35歳)とニコル・ニコラさん(31歳)の姉妹。

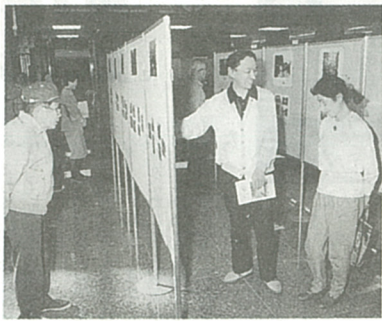
## 内容もさまざま

市庁舎で緑の写真展

身近な緑を題材にした写真展「第三回海老名市緑の写真展」が、十一月一日から十六日までの間、市庁舎一階のホールで行われた。

これらの写真は、市緑化推進協議会が緑化意識向上の一環として募集したもので、今年には市民五十一人から二百点の応募があった。

展示された作品は、市内の緑の名所やれんげ畑、人工物と緑が調和した公園、路傍にひっそりと咲く野草、子供たちが一生懸命育てたミニトマト、内容もバラバラで写真を見た来庁者は「ふたたび緑もこんなに気持ちい緑もこんなに大切にしたいですね」と。



「これ、家の近くの緑だね」と来庁者

サンタクロースの姿のマリアムさんが、鈴を鳴らし「メリクリスマス」を連呼して三階のわかば会館に登場すると、子供たちは大喜びで、最後は全員で輪になり合唱する光景も。

マリアムさんは「今日は私にとってもうれしい日。アメリカでは日常のなっているハンディキャップを持った人たちの交流を、大好きな日本でも行いたいから」と話している。

## 春には育てるぞ!

成人学級で観葉植物学が

室内のインテリアとしても普及している観葉植物の育て方や楽しみ方を学ぶ「成人学級」が、十二月二日から十八日までの五日間、市庁舎で開講された。

三十一人の受講生は、県立中



植物を手に説明する金崎氏



女性版サンタは子供たちの人気者に

## 海老名むかしむかし

☎33・3838

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。  
12月18日～1月6日 第10話 一つ目小僧  
1月7日～1月20日 第16話 伝説有鹿姫

# 海老名むかしむかし

## 第11話 豊受大神の御神木

ご承知のように神木とは神社の境内にあって神聖視されている樹木である。天保年間(一八三〇～一八四四年)に出された新編相模国風土記から市内の神木を抄出すると豊受皇太神宮 神木松 圍二丈四尺(7・27尺) 今里八幡宮 神木松 圍一丈二尺 中野八幡宮 神木銀杏樹 圍一丈九尺 社家三島社 樹神木なり 圍二丈八尺 門沢橋稲荷社 しばの木 木なり 圍一丈八尺 となる。このように神木は市内北部の神社には皆無で、南部地区に片寄って存在しており、樹種は四種だが、いずれも大木巨樹である。

ここに挙げられている豊受大神には、前代にも一つの神木があったのではなからうか。寛政二年(一七九〇年)に書かれた恩賜郷恋護守外宮太神宮石馬石路録起に、「……大九当社の縁起越かんがうるに人皇四十五代聖武天皇の御宇神龜年中(七二四～七二九年)の御鎮座なり、其御外宮豊受太神宮神馬に乗じて五枝の杉の本に降臨し給ふ……」

とある。他のことは別として、この中にある異形の五枝の杉が本当に生えていたとするならば、神龜天皇時代の恩賜馬の氏子たちは恐ろしい思いで、神木として崇めていたに違いない。縁起はこんな夢幻な世界に誘われて、楽しい。さて、文献に初めて見える

とを、和歌にも託して後世に伝えてくれた徳右衛門の心意気に感服せずにはいられない。かぶと松が盛っていたといふ予て南側に今日の御神木タブノキがある。目通り三・六四尺、根回り八丈九・一尺もある大樹である。かぶと松の枯れた跡に生い立ったといふ口伝もあるが、樹齡を想定した場合、これは合理性を欠く。天保から今日までの約百五十年間ではこれほどの巨木に育つはずがないからである。



現在の神木タブノキには王者の風格が……

タブノキはクスノキ科の常緑樹でイヌスグともいふ。枝や葉を折ると良い匂いがする。油を含んでいるので生でも燃えるという。風土記では「しばの木」と表記している。新に使うシバと通い合っている。気候風土が適しているのか、市内にはこの大木があちこちにある。自然緑地保存樹木として市指定のタブノキだけでも七本ある。この中で最も太いのは推定樹齡三百年という中新田の海蔵寺の墓地の西北隅にあるタブノキで、「地上・一五尺の所でめぐり、三上・一尺」と標示されている。豊受大神の神木はこれを越えているので、タブノキでは王者の座を占めているのかも知れない。(池田 武治)

御神木は、宝暦十一年(一七六一年)の「外宮太神宮社地絵図面」にはっきりと描かれている松である。傍にいていねいに「神木」と添え書きがある。これがこの後約八十年たつて書かれた前述の風土記にある松であろう。現存の海老名の大ケヤキの太さ八尺に追いつく巨木である。

この神木は別名「かぶと松」ともいわれ、その伸びた大枝は拝殿を覆っていたというオパーナ言いが伝えも残っているほどのもの

御社のわたりにする。木内徳右衛門武啓 齡こそゆりやすらめ たま松のありむかしし のはるるかな ○○○勝利献書 千年も経っているであろうとみなほめたたえていた老松が、天保十三年(一八四二年)の五月に惜しくも枯死したこ

とを、和歌にも託して後世に伝えてくれた徳右衛門の心意気に感服せずにはいられない。かぶと松が盛っていたといふ予て南側に今日の御神木タブノキがある。目通り三・六四尺、根回り八丈九・一尺もある大樹である。かぶと松の枯れた跡に生い立ったといふ口伝もあるが、樹齡を想定した場合、これは合理性を欠く。天保から今日までの約百五十年間ではこれほどの巨木に育つはずがないからである。



宝暦の絵図面に描かれた神木

この神木は別名「かぶと松」ともいわれ、その伸びた大枝は拝殿を覆っていたというオパーナ言いが伝えも残っているほどのもの

御社のわたりにする。木内徳右衛門武啓 齡こそゆりやすらめ たま松のありむかしし のはるるかな ○○○勝利献書 千年も経っているであろうとみなほめたたえていた老松が、天保十三年(一八四二年)の五月に惜しくも枯死したこ

とを、和歌にも託して後世に伝えてくれた徳右衛門の心意気に感服せずにはいられない。かぶと松が盛っていたといふ予て南側に今日の御神木タブノキがある。目通り三・六四尺、根回り八丈九・一尺もある大樹である。かぶと松の枯れた跡に生い立ったといふ口伝もあるが、樹齡を想定した場合、これは合理性を欠く。天保から今日までの約百五十年間ではこれほどの巨木に育つはずがないからである。